

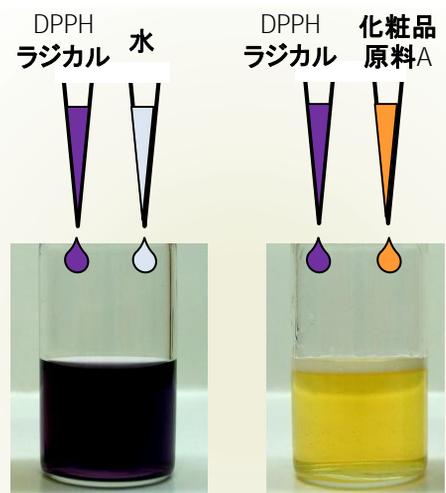
活性酸素は体のサビともいわれ、様々な老徴や肌トラブルに関わっています。この活性酸素の消去効果を測定し、抗酸化効果を評価する試験です。抗酸化効果を測定することにより、活性酸素により増悪する様々な肌トラブルに対しての効果が期待できます。健康食品で人気のポリフェノールや美容ビタミンといわれるビタミンC、Eも抗酸化効果を有する代表的な成分です。弊社では活性酸素の種類別に三種類の試験を準備しています。

試験目的: 抗酸化(シミ、シワ、ニキビ、毛穴)

データ活用: 社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出: 数値 画像

データ例:

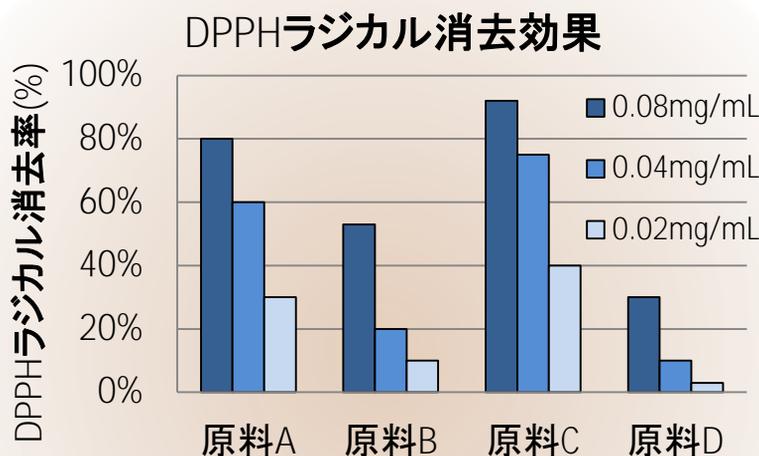


消去効果無

消去効果有

原料Aに

DPPHラジカル(≒活性酸素)を消去する効果が確認される



DPPHラジカル消去率(%)

原料A 原料B 原料C 原料D

	原料A	原料B	原料C	原料D
効果	○	△	◎	×

原料A、B、Cに抗酸化効果が確認され、特に原料Cの効果が高い

## DPPHラジカル消去効果試験

DPPHラジカルを用いてラジカル消去効果を調べる試験です。

## 過酸化水素消去効果試験

活性酸素の一種である過酸化水素の消去効果を調べる試験です。

## SOD様作用試験

人工的に活性酸素を発生させその消去効果を調べる試験です。